

## 環 境 報 告 書

R5年3月報告

ふりがな	かぶしきがいしゃさくせん			認定 ランク	三つ星
事業所名	株式会社サクセン				
概 要	所 在 地	長野県松本市双葉6番1号			
	代 表 者 名	代表取締役 高橋 作夫			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	建設業（土木工事、とび土工、電気工事、管工事、舗装工事 機械器具設置工事、さく井工事、水道施設工事、解体工事） 地質調査業、建設コンサルタント業 従業員数 49名			
	担 当 者	所属	総務部	氏名	稲葉 雄二
	連 絡 先	電話	0263-25-1802	FAX	0263-25-9642

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	<p>私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、建設業の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。</p>
環境に関する取組目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。</li> <li>2. 省エネルギーの推進に努めます。</li> <li>3. 再生可能エネルギーの推進に努めます。</li> <li>4. 自動車通勤の制御の推進に努めます。</li> <li>5. 廃棄物の削減と3R（発生抑制、再利用、再生利用）を推進します。</li> </ol>

<p>具体的な取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電力による二酸化炭素排出量の削減</li> <li>・ 自動車燃料の削減</li> <li>・ 産業廃棄物の削減</li> <li>・ 再生可能エネルギー（地中熱）の利用促進の推進</li> <li>・ 水資源の節水</li> <li>・ 資材及びグリーン製品購入</li> <li>・ 環境に配慮した工法の推進</li> </ul>
<p>実施結果（成果）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電力による二酸化炭素排出量の削減 前年度比 0.1 t 増加 詳細は別添 資料 1-1～1-5</li> <li>・ 車両及び建設機械の燃料削減 ガソリンは対前年比 3,736ℓ 軽油は 12,818ℓ 減少 資料 2-1,2-2</li> <li>・ エコ通勤の推奨活動を引き続き行い、社員の約 20%が公共交通機関又は、自転車徒歩による通勤を維持している。</li> <li>・ 産業廃棄物の削減 簡易梱包の依頼の結果、大型資材の梱包用材等が減少し、また解体工事減少したため、産業廃棄物総排出量が前年比約 1,329 t 減少した。 （令和 2 年度→令和 3 年度） 詳細は別添 資料 3-1、3-2</li> <li>・ 再生可能エネルギー（地中熱）の利用促進の推進 地中熱利用促進協議会（長野県地中熱利用促進協議会）への加入および協議会活動を通しての推進活動を実施。</li> <li>・ グリーン製品の購入については、事務用品を主に購入</li> </ul>

<p>課題・問題点と その改善に向けた取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内・社外照明器具をすべて LED 照明器具に交換した効果もなくなり、引き続き省エネルギー活動に取り組んでいるが、電力による二酸化炭素排出量は微増となった。</li> <li>・古い燃費の悪い車両より、順次燃費の良い車両へ入替えを行い、工事受注量の増加の影響はあるが、ガソリン・軽油使用料が大幅に削減できた。</li> <li>・産業廃棄物（汚泥、がれき）等については工事受注量に左右されるため縮減については如何ともしがたいが、再利用の促進については使用材料として乾燥処理土の埋め土材としての利用、再生砕石の使用等努力に努める。</li> </ul>
<p>その他、 アピールポイント等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安曇野環境フェアに参加し、水資源に関する教育活動を実施した。資料 4-1</li> <li>・松本市内小学校にて地下水の出前授業を行った。資料 4-2</li> <li>・市内の水めぐりの井戸美化清掃活動を通し、水環境の保全に向けた啓発活動を行う予定だったが、コロナの影響により実施できなかった。.</li> </ul>